

2020 4ST125 クラス車両規則

★ 4st ミッション付き 17 インチ 125cc インジェクション仕様車 (150cc 車両 その他車両については要相談)

下記 : © 2020 関東ロードレース選手権 桶川スポーツランド様

1. ハンドル / レバー / ステップ / ペダル等の、ポジション関連部品の改造、変更は可。また、それに伴う不要なステー、フレームの最小限の加工は可。
2. ブレーキに関しては、パッド / ホース / バンジョーボルト / R ディスクローターの変更とパッドスプリングの取り外しは可。また、キャリパー / マスターガード装着と、それに伴うボルトの変更も可。ただし、その場合のボルト材質は鉄 / ステンに限る。加えて F マスターシリンダーの変更も可とするが、そのピストン径は 1/2(12.7mm) 以下とする。
3. フロントフォークのインナーパーツの改造・変更・追加は可。イニシャルアジャスター、スタビライザーの追加・変更は可。
4. リヤサスペンションの変更は可。また、それに伴うアダプターの使用やリンク及びリンクベアリングの改造・変更は可。また、ストロークセンサーの追加は可。
5. エアクリーナー BOX の改造、変更、取り外しは可。また、ファンネルの使用は可。ただし、取り外すエアクリーナー BOX にブリーザーホースが通っている場合は、別途オイルキャッチタンクを取り付け吸気循環方式処置を施す事。
6. ECU セッティングによる、燃調及びレブリミットの変更は可。また、それに伴う部品 (サブコン) の使用は可。オートシフターに関しては、メーカー純正品のみ 取り付けを認める。WestPower(Special Agent) 製インジェクションコントローラー (GSX-R125 Negotiator-I) の使用は可とするが、点火タイミングの変更及びオート シフターの使用は不可。
7. スロットル / グリップラバー及び、スロットルワイヤー / クラッチワイヤーの 改造・変更は可。ただし、スロットルボディ本体に関しては一切不可。
8. スパークプラグの変更は可。また、プラグキャップの変更は可。
9. カウル / タンクカバー / フェンダー等の、フェアリング関連パーツの改造・変更は可。また、それに伴うステーの追加や、フレームの最小限の加工を認める。
10. マフラーの変更は可。ただし、音量に関しては総合規定に合致している事。
11. チェーン及びチェーンサイズの変更は可。またスプロケットの変更は可。F スプロケットカバーの改造、変更は可とするが、安全性を満たしていないものは不可。
12. タイヤは一般市販されていて、通常ルートで購入できるもののみ使用可。ただし、スリックタイヤ、グルーピング及びカッティングは不可。R11 及びレインタイヤの使用は可。
13. クラッチスプリング、フリクションディスク、クラッチプレートの改造、変更は可。
14. 燃料ポンプの改造、変更は可。
15. 戦力バランスを考慮しアブリリア RS4 のみ 150cc までのボアアップを認める。
16. ラジエターの改造、変更は可。なお当クラスは発展途上の為、各機種 of 戦力バランスを考慮しシーズン中に何らかの規則が追加される場合がある為、予め注意する事。